

[優秀賞]

◇ 自分なりのベストバランスを考えて

◇

吾妻小学校 6年 佐々木 翼

ぼくは、今まで男女で働き方や、職種に違いなんてないと思っていました。同じ人間として、自由に選べて働けるのが当たり前のように思っていたからです。しかしこの作文を書くに当たって、男女平等について改めて調べてみると、男女の職種や役割について今と昔では大きく変わってきていることが分かりました。例えば医師で言えば、昔の病院の先生は男性が多く、看護師は女性が多かったことや、女性だからという理由で、医学部の試験で不合格にされたこともあった事を知って驚きました。

なぜなら、ぼくの生まれた病院の医師は女性だったし、今通っている小児科の先生も女性だからです。この事を母に聞いてみたら、「実は婦人科の先生が女性だからそこにしたんだ。」とっていました。「どうして」と聞いたら、お母さんは「出産は、女性の先生のほうが不安なくみてもらえるからそこにしたの。」と教えてくれました。このように母だけでなく、多くの女性患者も、男性医師と女性医師と選べる環境で安心して診察できるようになっているのだと気づきました。

そこで疑問に思う事も出てきました。男女が平等な環境で本当にみんなが幸せなのかという事です。

ぼくの家では、弟が幼稚園に入ったタイミングで母が働くようになりました。弟はまだ3歳なので短時間しか働いていませんが祖母と一緒に住んでいるので、そんなに不安はありません。むしろ母がいると「宿題はやった

の」「やることをやってからテレビを見なさい」といつも同じ事を言われるので、いない方が気が楽です。しかし弟は、毎回「ママはどこ。」

「ママがいない。」と泣いています。そんな姿を見ると、可哀想に思ってしまいます。まだ小さな弟は母が帰ってくると玄関まで走って迎えに行っています。弟の年齢では母がいるだけで安心できるのだろうか、と気づきました。

またぼくのように親の干渉があまりなく、のびのび過ごせている子供が、インターネットを使う事で、親の目の届かない所で気づいたら犯罪に巻き込まれていた、ということもあるようです。小学生でもSNS関係のニュースが取り上げられていて身近な内容にびっくりしました。

そこで改めて考えました。男女差別がなく平等に働ける環境になったのは良い事だけれど、夫婦どちらも働いていて、それによって親が疲れすぎていてぼくたち子供のSOSに気づいてもらえない事が増えるのではないかと心配になりました。将来、自分が親になったときに父親も、母親も、またそれ以外の人たちも自分らしく生きていけるように、それぞれのいいところ・悪いところをしっかりと考え、自分なりのベストバランスを見つけていくことが大切なのではないかと思います。